

## 令和4年沼津市教育委員会 第12回定例会会議録

- 1 日 時 令和4年12月22日(木)  
午後3時00分～午後4時15分
- 2 場 所 青少年教育センター2階 会議室
- 3 日 程
  - (1) 開会
  - (2) 会議録署名人の指名(川口委員 重光委員)
  - (3) 教育長報告
  - (4) 協議事項
  - (5) 報告事項  
報告事項1 令和4年11月市議会定例会一般質問等について
  - (6) その他
  - (7) 議案  
議第21号 令和5年度沼津市立小中学校教職員人事異動の内申方針(案)について

#### 4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 川口浩史、委員 土屋葉子、委員 重光純、委員 佐藤清子、教育次長 山本貴史、教育指導監兼学校教育課長兼情報教育推進室長 山崎巖、教育企画課長 原将史、学校教育課学校給食室長 渡邊偉智洋、文化振興課長 林敬博、学校教育課副参事(教職員担当)兼教育委員会青少年教育センター所長 内田要、調整担当・教育企画課長補佐 内村一徳、学校教育課長補佐 渡邊芳久、青少年教育センター主任 勝呂早奈恵、青少年教育センター指導主事 内田恵理、教育企画課指導主事 栗原克弥、教育企画課指導主事 松岡ミュキ、教育企画課指導主事 岩本智明、教育企画課主任 藁科奏

#### 5 会議内容

##### (1) 開会

奥村教育長が午後3時00分開会を宣言する。

##### (2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に川口委員、重光委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

奥村教育長 今年もあと9日となり、本定例会も本日が最終になる。市内小中学校は、明日、授業日数83日の2学期の終業を迎える。先週あたりから新型コロナウイルスの感染が一気に拡がり、現在、小学校3校で4学級、中学校1校で1学級が、いずれも本日まで学級閉鎖である。新規感染者数は先週半ばあたりから50人を超える状況が続いた。現在は数字の上では少し減ったが、管理職を含めた教職員の感染者及び濃厚接触者も連日報告されるなど、自宅療養、自宅待機のまま冬休みに入る

子供や教職員は多い。また、県内では既にインフルエンザによる学級閉鎖も報告されており、本市でも本日、小学校1校で新型コロナウイルスとインフルエンザの陽性者等が合せて10人を超えたため、明日の終業式に学級閉鎖する。今年の冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されている。年明け早々には市立沼津高等学校中等部や私立中学校の入試が行われ、その後、国立高専、私立高校、公立高校入試と続く。全ての児童生徒が、自分の力を十分発揮できることを祈っている。併せて、教育委員の皆様も体調管理に十分留意され、新しい年をお迎えいただきたい。

### (3) 教育長報告

奥村教育長

11月25日（金）から12月16日（金）までの22日間の会期で、沼津市議会定例会が行われた。新型コロナウイルスの影響を受け、一部一般質問が取り下げられたが、5人の議員から教育委員会に関わる一般質問が行われた。詳細は、後ほど事務局から報告させていただく。

12月2日（金）に市役所にて、静岡県弁護士会との法教育推進に関する協定締結式を行った。小学生のうちから、法や司法制度の必要性をわかりやすく理解するために法教育に関する出前授業を取り入れようと思っている。その中には人権に関する内容も含まれ、いじめの未然防止にも繋がると考えている。子供たちに、自分たちの生活になぜ法が必要なのかを知ってもらうことを主な目的に、協定を締結した。先月報告した野村證券沼津支店との金融・経済教育の推進に関する協定と同様に、子供たちがトラブルに巻き込まれることを未然に防ぐことも併せて啓発していきたいと思う。なお、金融経済教育の推進に関しては、沼津信用金庫にも同様に取組に加わっていただくことになった。

12月11日（日）、市立図書館にて、平成26年から始まったビブリオバトル小中学生大会in沼津2022が行われた。今年は小学生が市内9校から19名、中学生は12校から38名、合計57名の応募があった。この数は今までで一番多い。競争倍率の高い1次審査を突破した小学生8名が午前中に、中学生6名が午後に発表した。限られた時間の中で、聴いている人を惹きつける話し方、聴いている人にわかりやすい内容の組立等、年々レベルが高くなっているように感じる。今やビブリオバトルは、高校生や大人の大会でも盛り上がりを見せている。先日、静岡県高等学校ビブリオバトル大会、いわゆる高校生の県大会が行われた。その大会で、沼津市立沼津高等学校の1年生と2年生がチャンプ本、準チャンプ本、簡単に言うと、優勝、準優勝を独占した。これは快挙であり、今回はその高校生2人に小中学生の前で発表してもらった。さすが高校生チャンプであり、私も含め一般の観衆の方々も、その素晴らしい発表に大きな拍手を送った。また、小中学生も大きな感動と刺激を受けたようで、「私たち、僕たちも高みを目指して、今後も頑張ります」等の感想を述べていた。小中学生大会での高校生の発表は、今後も継続してほしい。

12月19日には、三好前教育委員に来庁していただいた。教育行政に非常に御尽力されたことで永岡文部科学大臣から表彰状をいただき、私が代読して授与させていただいた。三好先生は非常に和やかな表情でいらっしゃり、皆さんにもくれぐれもよろしくお伝えくださいとのことだった。

12月5日（月）から各中学校区において、教育企画課が地域教育懇話会を開催している。10月の総合教育会議で協議した「学校規模・学校配置の適正化」「コミュニティ・スクール」「中学校部活動の地域移行」の3つのテーマについて説明し、地域の皆さんからいろいろな意見を伺っている。今年度中に17校区を回るため、まだ途中段階だが、これまでの進捗状況を教育企画課長から報告していただきたいと思う。

教育企画課長 今お話しいただいたとおり、地域教育懇話会については、総合教育会議でお知らせしている。適正化、コミュニティ・スクール、中学校部活動の地域移行をテーマとしながら、地域総がかりで取り組む教育に係る御意見を、全中学校区において各地域の関係の方々からいただきたいということで、12月5日から開催している。年内は本日夜、静浦地区が最終となるが、本日までで5地区となる。来年は、年明け1月4日からの愛鷹を皮切りに、現在日程が未定の地区もあるが、年度内には全ての中学校区での開催を予定している。やはり、御意見をいただくものは部活動の話が多いが、そうした中でも、適正化、御案内のとおり、地域全体の児童生徒数推移の減少傾向が依然として続くことに関して、これは教育委員会の所管ではないが、少子化対策や子育て世代を呼び込む政策等も、適正化に絡む話として御意見をいただいている。また、部活動については、これまでの機会が失われることがないように、また、勝ちにこだわらないというところも踏まえた対応、あるいは、受益者の負担については金銭的な負担もあるが送迎等の負担への配慮、学校開放について、「地域移行」という表現が地域としての負担を懸念させるという意見等もいただいている。また、本日も含めてまだ5地区ではあるが、資料も含め、教育委員会ホームページで意見の概要も今後公開をしていく予定である。また、総合教育会議の市長とのやり取りの中で、講演会という話を市長からも提案いただいた。こちらについては、年度内に開催すべく現在調整中であるため、後日、教育委員の皆様にお知らせさせていただければと考えている。

奥村教育長 教育長報告は以上とする。

<協 議>

奥村教育長 日程（4）協議事項は、本日は案件なし。

<報 告>

奥村教育長 日程（5）報告事項である。

報告事項1 令和4年11月市議会定例会一般質問等について

<本会議で行われた一般質問等について報告する。5人の議員から、本市の文化振興策について、安心して子どもを産み育てられるまちについて、原・浮島地区における文化財の保存・活用について、学校給食費の無償化について等の質問があり、教育長または教育次長が答弁を行った。>

(教育次長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。本件に関する御意見、御質問等いかがか。

- 土屋委員 最初の高橋議員の質問は、沼津の文化的な部分をもっと活発にという気持だったと思う。教育次長の答弁では若者や新たな団員の参画が喫緊の課題だということだったが、中学校部活動の地域移行の話の中でも、私が感じたのは、スポーツの方はいろいろな団体や手を挙げて下さる方が多いが、国の予算を見ても文化部の方は非常に少なかった。沼津は文化のまちだと思っている方も多いため、文化部や文化芸術活動への援助や活発化を沼津市として表して欲しい。
- 文化振興課長 貴重な御意見をいただいた。私も芸術活動等を支える身として、是非若者に参加してほしい。また、そういう機会を提供する必要があると思っている。部活動の指導者については、私どもが日頃お付き合いしているさまざまな団体のトップの方に声かけをして、つなぐことで何かきっかけができると思う。
- 奥村教育長 今年も11月に約1か月にわたって沼津市芸術祭を開催し、来年が50回目になる。私は今年もアマチュアの方々のレベルの高さに本当に感激、感動した。展示にしても、舞台にしても、素晴らしいものを1か月間にわたって観せていただいた。このような沼津の方々の文化に対する気持ちを本当に大事にしていかなければならないと思う。決して文化を軽視しているわけではないが、スポーツを通してのまちづくりということが市長からも出てきているため、スポーツの方が少しクローズアップされ気味という部分は否めないかと思う。
- 川口委員 不登校の子供がたくさんいることはわかっている。民間フリースクールや青少年教育センター等、学校には行けない子供が行ける場所を用意してくれているが、どれぐらいの不登校児童生徒が利用しているのか。学校の保健室は行けるが教室には入れない子供もいるが、それは登校になると思う。そうではなく、学校以外のところなら行ける子供がどれぐらいいるのか。それ以外の子供は完全にひきこもり状態で、家から出なくなっていると思う。
- 青少年教育センター所長 青少年教育センターでは、市内全体の不登校数から比べると、正直、全部をカバーすることは非常に難しい状態にある。今年度の新規件数は87件であり、子供や保護者が相談に来ている。継続件数もあるため、現在130件ぐらいになっている。昨年度は過去最高件数であったが、現在のこの数字は昨年度と同じぐらいのペースだと捉えている。不登校児童生徒数がかかなり多いため、青少年教育センターの利用を促進していかなければと思う。沼津市に1か所しかないためなるべく子供たちが来やすい形をとっているが、実際に通うとなると家から出ることが難しい子供や家の都合で連れて来られないという子供がいるため、そこを乗り越えて来てもらえるように、宣伝やアピールをしているところである。フリースクールに関しては市内に3か所あり、学校と協力して出席扱いとする場合には連携をとっている。まだ数も少なく限られた場所にあるため、カバーしきれているというところまでは至っていないと思う。
- 川口委員 今おっしゃられたように、青少年教育センター1か所しかないため、来られる人も来ようと思う人も限られてしまうと思う。可能なのはわからないが、地域分散型にすると来やすいのか等、いろいろと考えてしまう。通いやすい方がいいだろうし、徐々に通い慣れていくと思う。ひきこもりはあまりよくないので、何か人と関わる機会を持てるとよいと思う。
- 奥村教育長 沼津というエリアを考えたときに、条件的に一番通いやすいところが真ん中だということでここに青少年教育センターがあると思うが、所長の方でそういう御意見を伺ったことはあるか。

- 青少年教育センター所長 実際には家から遠いため通えない子供もいると聞いている。家庭訪問をしていた時代もあるが、今はそれをかなり上回る面接数を受けている。相談員が1回外に出ると3時間はかかり、そうすると3回分の面接を潰してそちらへ行くという形になるため外に出ることが難しいのが現状である。各校には中学校を中心に相談室が設置されており、一定数の子供たちが教室には行けないが相談室に通うことでカバーしていたり、もしくは、相談室には通えなくても先生方が放課後の時間を使って家庭訪問やネットでつないで面談を行ったりと、子供とのつながりを作るための対応をしている件数も少なからずあり、段階によっていろいろな形で精一杯支援をしているところである。今後も拡充していければよいと思っている。
- 奥村教育長 川口委員の御指摘のとおり、一人一人の居場所づくりについては、まだまだ課題がたくさんあると思う。マンパワー的に、充足されていないのが現状である。
- 佐藤委員 興国寺城跡についての感想だが、実は、私は11日に初めて興国寺城跡に行った。整備されてから初めて訪れたが、この城はこうで、こういうお堀があって、芝生のところで丸くなって色が違うのは丸い堀があったという説明を聞くと、ただの芝生が丸い堀に見えた。説明を聞かずに知らなかったら、色が違う芝生だと思わなかった。そのとき、子供たちがここに遠足で来るとよいと思った。私が小中学生のときの遠足は、第二校区なので、小学校1年生のときは千本公園、中学校3年か小学校6年のときは鷲頭山だった。それも学校に集合して歩いて行って登って降りてきて、鷲頭山はすごく登るのが大変な山だったぐらいしか覚えていない。せっかく整備され国に指定された史跡があるので、そのときに一緒に訪れたスカウトの保護者も言っていたが、学校の遠足で興国寺城跡に来て、説明をしてくれる方がいれば、この城がどんなにいい立地にできたか、誰々の出城であったとか、歴代城主の変遷などの話を聞くことで遠足プラス社会科見学となる。そうすれば、沼津にこんないいところがあるとわかり、子供たちがもっと沼津に愛着が湧くのではないかというのが、その日の感想だった。そのような活用の仕方もあると思う。
- 奥村教育長 そのあたりのガイドはどうなっているのか。
- 文化振興課長 現在、興国寺城跡の案内看板にはQRコードが載っている。スマホを持っている方はQRコードを読み込むと、YouTubeで解説員の解説を見ることができる。一般客にはそのような形で解説を見てもらえればよいと思うが、佐藤委員がおっしゃるとおり、子供たちに生で学芸員が説明をするのは非常に有意義だという感想を持った。学校からそのようなオーダーがあれば、喜んで説明させていただきたいと考えている。
- 佐藤委員 長浜城跡の話もついでに聞いたが、質問をすると説明してくれた。QRコードからただ説明を聞くだけでは、疑問は解消されないため、要請されて学芸員が児童生徒に話をするという連携が取れるといいと思った。
- 奥村教育長 学校の先生方にも、なぜ遠足によいのかをPRする必要がある。私も浮島中在籍時に1回しか訪れたことがなく、いつも素通りしていた。魅力をわかってもらうことは大事だと思う。
- 川口委員 学芸員の話は本当に引き込まれる。先日行われたオンライン研修での学芸員も話していたが、あのような話を聞くと子供たちも興味を持てると思う。歴史は

本で見るものだが、それが実際にここで起こったということが実感として少しでも感じるができるチャンスになるのではないかと思う。

文化振興課長 現在本丸はないが、そこに歴史上、後北条家があり、戦国時代にこういう城があっただろうという説明をするとイメージが湧く。城や史跡めぐりが好きな方は、本丸がなくても、そこにこういう歴史や出来事があったということを知りながら自分でイメージをすることを楽しむ。子供たちにも戦国時代にこんなことがあり、こういう戦いがあったということを知り、自分でイメージを湧かせることで興味を持ってもらえたら非常に嬉しいと思う。

奥村教育長 VRの開発等もイメージ化のためには必要だと思う。  
ほかになれば、本件については報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

奥村教育長 日程(6)その他である。  
何かあるか。なければ、残る日程は非公開とする。

---

議第21号は、人事案件であるため非公開とする。

奥村教育長 以上をもって本日の定例会を閉会する。

午後4時15分 閉会